



広報

みまた

59/6月号

発行
昭和59年6月1日
(第183号)
宮崎県北諸県郡三股町
編集 職員課
電話 52~1111



— 今月の主な行事 —

- 4日(月) 乳児相談(第6地区・中央公民館)
- 7日(木)~29日(金)
結核検診及び成人病検診(各地区公民館)
- 13日(水) 糖尿病教室(中央公民館)
- 20日(水) 1歳6ヶ月児検診(中央公民館)
- 25日(月) 健康相談・乳ガン検診(第5地区公民館)
- 27日(水) 育児教室(中央公民館)

健康は丈夫な歯から

6月4日から10日までは「歯の衛生週間」です。むし歯、歯槽膿漏などの歯の病気の予防や早期発見、早期治療をし、健康な体をつくろう。

《写真：ひまわり保育園》

新年度予算案など二十七議案を可決

三月定例議会

昭和五十九年度の第二回町議会定例会は去る三月十日開会され、昭和五十九年度各会計予算案など、二十七議案がすべて原案どおり可決されました。
町長は、この定例会の冒頭に昭和五十九年度に臨む所信を明らかにしました。

「地方財政は、昭和五十九年度においても引き続き、大幅な財源不足の状態におかれることは必至の様相を呈しており、抜本的な財政健全化が求められているところです。私はこのような厳しい地方財政を十二分に踏まえ、加えて町総合計画の施策をもとに今年度の予算を対前年比三・八パーセント減の三十三億六千六百万円という超緊縮予算を定めました。そこで、これに対応するには全町民の自立自助の理解を求めながら効率的な町政を執行し、より明るく、より美しく豊かな住みよい町づくりに全精力を傾注したい。」と述べました。(要点のみ)
次の五項目の重点目標を明らかにし積極的に事業をすすめます。

豊かな町づくり 33億6,600万円でスタート



施政方針を述べる町長

一、快適な生活環境の整備

住みよい町づくりは、快適な生活環境の整備が必要であります。その生活環境の基盤をなす主要道路の整備や公営住宅の建設、都市計画事業などを積極的に取り組みます。

- 町道整備事業では、臨時地方道整備として道路改良や舗装などを行います。一方、補助事業としては島津紅茶園切奇線、神田橋、勝岡夢池桜木線、寺柱高畑線などの整備を行います。更に、生活関連道の整備として維持補修を積極的に行います。
(事業費：二億四千八百八十万円)
- 公営住宅整備事業では、唐橋第二団地として鉄路コンクリート四階建、二種十六戸の建設を行い、併せて住宅の管理事業(維持補修)や危険住宅移転事業なども行います。
(事業費：二億四千八百八十万円)
- 都市計画事業では、都市環境の改善を図るため、新馬場郡元線の街路事業や土地区画整理事業、植木地区の都市下水路事業更に、新馬場、中原、榎風の公園整備事業などを行います。
(事業費：一億五千五百六十万円)

二、暮しを守る暖かい福祉を目指して

町民の暮しを守る暖かい福祉を目指して、町民がより楽しく生活できる環境づくりを福祉施策の基本姿勢として、意欲的に福祉事業を推進したい。

- 児童福祉関係では、児童が心身ともに健やかに、且つ育成されるよう保育事業や乳幼児医療、児童手当などを行います。更に児童のレクリエーション及び学
- 習の場としての児童館運営事業や父子福祉事業、福祉団体育成事業などを行います。
(事業費：四億一千五百万円)
- 社会福祉関係では、恵まれない人々の援護事業や民生委員活動事業、重度心身障害者医療のほか、老人ホーム運営費、家庭奉仕員委託事業、老人医療、国民年金事務事、福祉団体育成

四、教育文化の向上とスポーツ振興

本町は古くから文教の町として広くその名をなしています。最近とみに都市化が進み、町民の教育に寄せる情熱と気運を推進力として、今後一層の教育振興を図ります。

- 学校教育では、児童生徒の学力向上と情操の陶冶が一段と伸展するよう教材の整備や教室、体育館などの整備を行います。
(事業費：一億二千万円)
- 社会教育では、教育活動の拠点である地区公民館の整備として、第九地区公民館をコミュニティー事業を取り組み、幼児から高齢者教育に至る幅広い生涯

教育の充実を図りたい。一方、文化面においても郷土の伝統的芸能文化の保存育成に努めると共に、新しい地方文化を創造し、その成果を次代に継承できるように努力したい。

- スポーツ振興では、健康文化都市宣言の町にふさわしいスポーツの奨励振興対策に努め、今年度はテニスコートの造成事業も行い、併せて、各種施設が活用され健康で明るい郷土作りを図りたい。
(事業費：一千三百万円)

五、公正明朗な行政とサービスの向上

町民の行政に対する需要は年々増高し、多種多様化の傾向にあります。そこで私をはじめ全職員は一体となって資質の向上に努め、町民の意思を体して、町民福祉の向上のために公正明朗な行政のサービスに努め、円滑なる行政運営の執

行を図っていききたい。以上の五項目にわたる重点目標を基調として、行政全般にわたる調和のとれた住みよい町づくりに全精力を傾注したい。

健全財政で 一般会計予算

事業などを行います。
(事業費：一億一千四百万円)
○ 保健衛生関係では疾病予防と健康づくりとして、医薬材料費や接種、検診、診療委託事業、広域医療事業などを行います。更に簡易排水

溜マス補助事業や母子栄養補給事業、健康づくり推進事業も行います。
(事業費：四千七百五十万円)
○ 清掃関係では、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため広域清掃、し尿処理運営費や塵芥収集運搬委託事業などを行います。
(事業費：六千五百八十万円)

三、農畜産業の振興と商工業の振興

農畜産業は、本町産業の根幹をなすものであります。農政の効率的な推進を図るため、生産基盤の整備と明るく住みよい農村集落環境の整備を積極的に推進します。
○ 農畜産業では、総合的な生産性の向上を図るため、地区再編農業構造改善事業や暖地営農むらづくり事業、土地改良総合整備事業、農村定住促進対策事業などを行います。

ブロックローテーションを推進し、農業経営の安定確立を図りたい。更に、農用地については農用地適正化軒旋事業をはじめ農業就業改善推進事業や農業者年金事業を行います。ほかに林業振興や地籍調査事業なども積極的に取り組みます。
(事業費：三億一千七百万円)
○ 商工業については、商業経営の近代化による購買力を町内指向に努め、創意工夫による消費拡大対策や中小企業者への貸付預託金制度を推進し、経営の安定化と活性化に努めます。
工業については、既存企業の育成振興に努力し、町民の余剰力の雇用拡大に努め、町民の生活安定向上を図りたい。

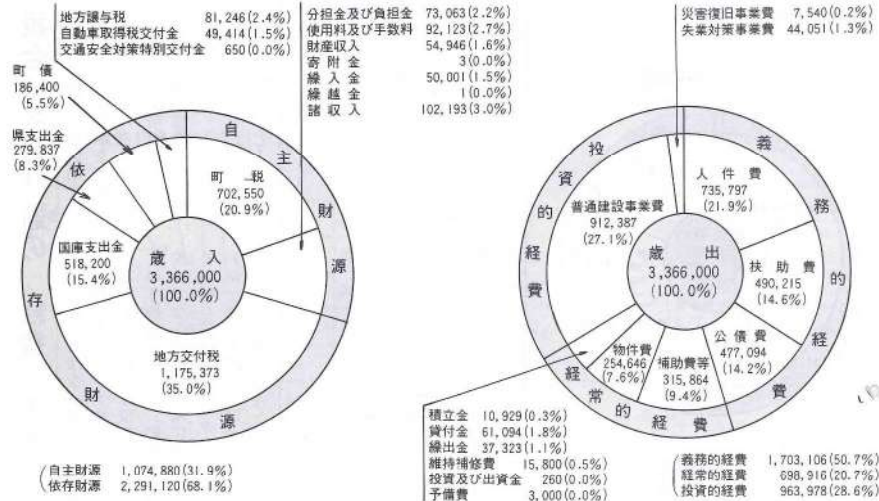
更に畜産総合対策事業や新地域農業生産総合振興対策事業、団体高農道整備事業、農業振興地域整備促進事業等により、農村自然環境を一体とした総合的な事業を行います。
一方、水田利用再編対策事業については、連担団地化による

本年度の主な事業計画

(単位:千円)

事業名	事業内容	事業費	事業名	事業内容	事業費
早馬下土地改良総合整備事業	農道整備L=400m 用排水路L=720m	15,150	中原児童公園整備事業	管理施設, 植栽ほか	6,000
勝岡土地改良総合整備事業	農道整備L=500m 用排水路L=920m	15,150	榎堀児童公園整備事業	修景施設, 遊具施設ほか	6,000
宮の原団体育農道整備事業	農道拡幅舗装L=370m	15,150	公営住宅建設事業	中層耐火構造4階建2種16戸 合併処理施設工事(浄化槽)	171,217
小鷹原団体育農道整備事業	農道舗装L=600m	15,150	前目切寄急傾斜地崩壊対策事業	県営事業負担前日, 切寄地区	5,500
県営老朽溜池整備事業(大谷)	県営事業負担金	2,385	防火水槽建設事業	道路埋設40m ² 2基20m ² 2基ほか	13,200
農村地域定住促進事業	南田農道舗装L=590m 坂下農道舗装L=180m	17,500	第9地区 コミュニティセンター建設事業	鉄筋コンクリート造1階453m ²	61,264
島津紅茶園切寄線改良事業	特殊改良一種L=220m W=9.8	14,000	地区再編農業構造改善事業	防火施設, 農村広場	18,000
勝岡藁池改良事業	L=100m W=9.5m	9,000	暖地営農むらづくり事業	集落環境整備	30,000
神田橋樑新設事業	神田橋新設	27,000	失業対策事業	舗装改修ほか	53,108
農村地域定住促進事業	寺柱町道舗装L=500m	13,700	臨時地方道整備事業	舗装改良	122,000
新馬場元線ほか1線街路事業	L=400m	69,000	公営住宅整備事業	用地購入ほか	65,500
植木都市下水路事業	L=250m	40,000	学校整備事業	教室床等張替工事ほか	19,209
新馬場近隣公園整備事業	外柵, 植栽, 管理施設ほか	20,000	合計		844,183

歳入財源別・歳出経費別調べ(単位:千円)



議会風景

● 三月議会でも決された議案の一部をお知らせします。
一、使用料及び手数料徴収条例の一部改正
住民基本台帳等(住民票、戸籍の附票及び印鑑証明など)の手数料や閲覧手数料及び各種証明手数料などが改正されました。(表一のとおり)
二、公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正
第八地区公民館の完成に伴い、

手数料(表1)

区分	単位	金額	納期	備考
①土地, 建物又は債権資産に関する証明	1枚	200円	出願のとき	
②納税に関する証明	1枚	200円	同	
③身元証明	1枚	200円	同	
④住民票及び戸籍附票の写しの再認証又は住民票記載事項証明	1枚	200円	同	
⑤(除籍及び住民基本台帳簿)による証明	1枚	200円	同	
⑥その他の証明	1枚	200円	同	
⑦住民票及び戸籍附票の閲覧(除かれたものを含む)	1件	200円	同	1世帯又は1戸籍をもって1件とする
⑧付添又は図面の閲覧	1件	200円	同	1人につき1種類1回とする。ただし土地, 建物又は債権資産に関する公簿及び図面の閲覧は, 簿籍1冊又は図面1枚をもって1回とする。
⑨住民票の写し(除かれたものを含む)	1枚	200円	同	
⑩戸籍附票の写し(除かれたものを含む)	1件	200円	同	1世帯又は1戸籍をもって1件とする
⑪印鑑登録証明	1枚	200円	同	
⑫印鑑登録証交付手数料	1件	200円	同	
⑬印鑑登録証に表新増交付手数料	1件	500円	同	
⑭町役場に受理し又は, 経由する書類の受理手数料	1件	200円	同	
⑮農地関係調査手数料(現況調査)	1件	1,000円	同	
⑯区画整理	1件	400円	同	
⑰区画整理	1件	200円	同	
⑱所有権移転登記(農用地利用増進法による売買)	1件(3筆まで)	5,000円	同	
⑲農用地利用増進法による嘱託登記手数料	1筆増すごとに	500円	同	
⑳土地の表示の登記(土地の表示の変更(更正)の登記)	1件	1,000円	同	
㉑土地の名称人の表示の変更(更正)の登記	1件	1,000円	同	

この手数料は4月1日から実施されています。

三、公園条例の一部改正
都市計画事業によって施行された新馬場(近隣、中原(児童)、榎堀(児童)の公園を町立公園と定めました。
尚、町立公園を一時、又は長期間占用する場合の使用料が改正されました。(表二のとおり)
四、営農研修センターの施設及び管理に関する条例
転作促進定着化事業として、蓼池の小園地域に営農研修センターが建設されました。その施設の名称を小園営農研修センターとし、位置を三股町大字蓼池二八一九番地とし、管理運営などを定めました。

公園使用料(表2)

区分	単位	期間	料金
電柱, 支柱, 標識, その他これらに類するもの	1本	1年	500円
鉄塔その他これに類するもの	1基	1年	700円
地下埋設物	1m	1年	50円
行高その他これに類するもの	—	1日	500円
農業	1㎡	1日	10円
競技会, 展示会, その他これらに類するもの	1㎡	1日	5円
売店	1㎡	1月	300円
飲食店	1㎡	1月	300円
その他の公園施設	1㎡	1月	300円

昭和59年度会計当初予算状況

(単位:千円)

会計別	本年度予算A	前年度予算B	比較 A-B
一般会計	3,366,000	3,500,000	△ 134,000
特別会計			
国民健康保険会計	832,113	731,603	100,510
老人保健特別会計	661,882	575,309	86,573
新馬場土地画整理事業会計	34,239	51,811	△ 17,572
計	4,894,234	4,858,723	35,511

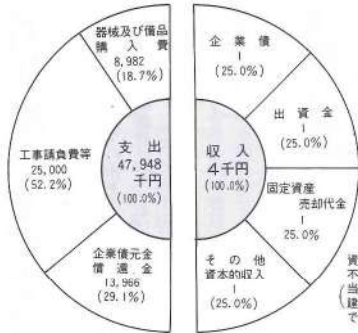
昭和59年度町国民健康保険病院事業の業務状況

町立病院は住民の健康管理と疾病予防並びに治療などを行う医療施設として運営されています。尚、業務の予定量は次のとおりです。

- ◎病床数60床 { 一般病床40床
結核病床20床
- ◎年間入院患者数 24,455人
年間外来患者数 56,240人
- ◎1日平均入院患者数 67人
1日平均外来患者数 190人

- ◎主要な建設改良事業
器械及び備品購入(ユニットほか)
8,982千円
- 病院改築事業(エレベーター設置
工事等) 25,000千円

資本的収入及び支出予算(単位:千円)

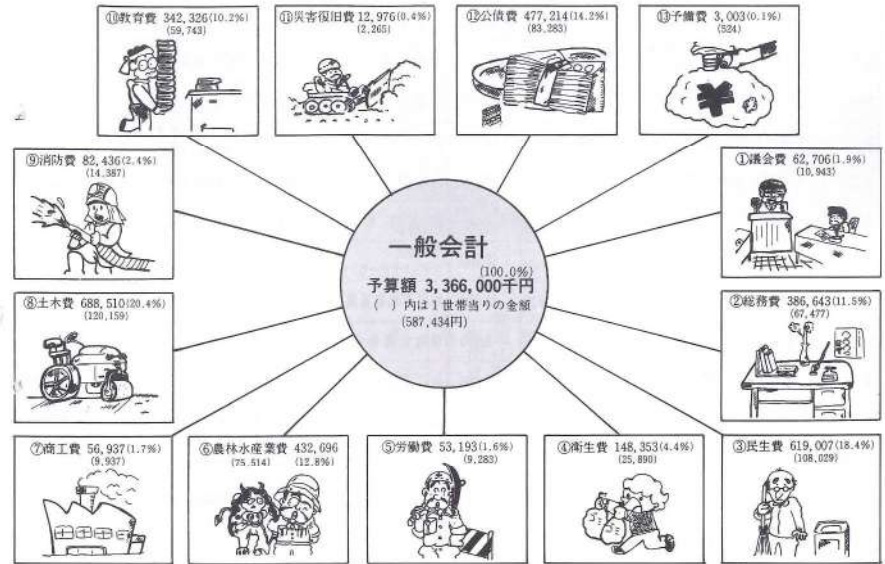


資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額47,944千円は(当年度分損益勘定留保資金 22,423 建設改良積立金 25,521 で補てんするものです。)

収益的収入及び支出予算

区分	科目	予算額	前年比
収入	入院収益	227,921	△ 7.0%
	外来収益	242,140	9.9
	その他収益	33,639	1.0
計		503,700	1.0
支出	給与費	246,069	2.4
	材料費	153,179	△ 2.1
	経費	58,132	5.6
	減価償却費	22,423	△ 2.2
	企業債借費	16,020	△ 5.7
	その他費用	7,877	14.4
計		503,700	1.0

歳出目的別内訳



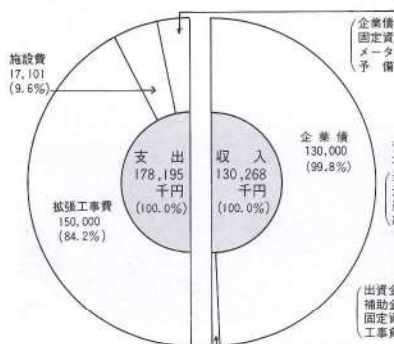
昭和59年度町水道事業の業務状況

水道事業は私たちの生活ならびに産業用水として住民に安定給水を図り、公共の福祉を増進するように運営されております。

- ◎給水戸数 5,940戸
- ◎年間総給水量 1,903,500m³
- ◎1日平均給水量 5,215m³

- ◎主要な建設改良事業
拡張工事 150,000千円
給水区域内配水管布設 17,101千円

資本的収入及び支出予算(単位:千円)



- 企業債借還金 7,925(4.4%)
- 固定資産購入費 1,440(0.8%)
- メーター費 729(0.4%)
- 予備費 1,000(0.6%)

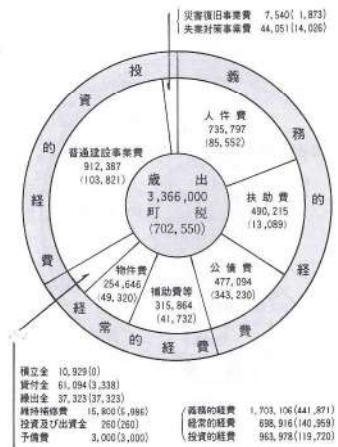
資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額47,927千円は(当年度分損益勘定留保資金 16,212 減価積立金 4,000 建設改良積立金 22,715 繰越利益剰余金処分額 5,000 で補てんするものです。)

収益的収入及び支出予算(単位:千円)

区分	科目	予算額	前年比	
収入	水道使用料	128,671	1.4%	
	受託工事収益	3,000	0.0	
	水道加入金	3,060	0.0	
	その他収益	5,676	0.2	
計		140,407	1.3	
支出	原水及び浄水費	37,444	5.8	
	配水及び給水費	27,851	13.8	
	総係費	22,935	△ 0.8	
	有形固定資産償却費	15,382	48.9	
	企業債利息及び一時借入利子	25,558	△ 2.1	
	その他費用	5,307	8.2	
	計		134,477	19.0

※収益的収入額が収益的支出額を上廻る分5,930千円の内5,000千円だけを資本的収入として補てんするものです。

町民の皆さんから負担していただく税金はこのように使われます。一般会計歳出3,366,000千円の経費別に充当される税金()内



町税の予算状況 (単位:千円)

税目	本年度当初予算額	前年度当初予算額	伸率(%)
町民税	245,607	257,807	△ 4.7
固定資産税	300,464	285,968	5.1
軽自動車税	18,861	15,801	19.4
たばこ消費税	67,334	59,640	12.9
電気税	37,832	34,450	9.8
木材引取税	865	1,141	△ 24.2
特別土地保有税	3,449	3,401	1.4
都市計画税	28,136	26,355	6.8
ガス税	1	1	0.0
入湯税	1	1	0.0
合計	702,550	684,565	2.6

昭和59年4月1日現在の住民基本台帳
人口 18,427人
世帯 5,730戸
町民税 町民1人当たり 13,328円
世帯税 1世帯当たり 42,863円

「より安定した豊かな生活を」といってわたしたちの願いを実現するため、税金はいろいろな分野に使われています。社会福祉をはじめ、道路や下水路の整備、住宅対策、教育などなど。

税金は、わたしたちが生活の向上と安定を願う限り、どうしてもわたしたちの納める税金がどのように使われるかを見てみましょう。

税金は社会共通の「経費」です

負担しなければならぬ社会共通の経費であるといえます。

このように重要な役割を果たしている税金について、納税者の方だけでなく広く皆さんに税を正しく理解し認識していただけるよう、わたしたちの納める税金がどのように使われるかを見てみましょう。



第8地区公民館

第8地区公民館

第8地区公民館は昨年八月に着工し、鉄筋平屋建（三百三十七平方メートル）で、総工費四千二百八十万円で建設されました。この施設は東原複層住宅の西側に位置し、建物の中・小会議室や調理実習室、図書室、事務室などが設けられています。完成に伴い、地区住民の研修や教養の向上、憩いの場として活用が大いに期待されます。尚、この建物は国庫補助金のほか、国民年金積立金還元融資を受けて建設されております。

昭和五十八年度事業が完成

町では、総合計画を基本にして、計画的な行財政の運営を図りながら「豊かで住みよい町づくり」をめざしています。昨年度に取り組んできました各種事業が完成しました。

唐橋公営住宅



公営住宅建設事業として、昨年八月より工事を進めていた唐橋第二住宅は三月十五日完成しました。この住宅は、中層耐火構造鉄筋コンクリート四階建（面積一・三二二平方メートル）二種住宅十六戸で、ほかに団地の舗装や植栽、倉庫、菜園、遊具施設なども整備され、総工費一億一千六百八十三万四千円で建設されています。

昭和58年度に完成した主な事業 (単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
早馬下土地改良総合整備事業	道路工 1,088m 用水路工 1,088m	30,300
勝岡土地改良総合整備事業	道路工 569.7m 用水路工 523m	15,150
団体営農道整備事業	道路工 188.2m	5,050
県営広域農道整備事業(負担金)		4,498
県営老朽灌漑池整備事業	町負担分8,480×22.5%=1,908	1,908
前目視山急傾斜崩壊対策県負担金	前目地区34,000千円× $\frac{1}{6}$ =3,400 梶山地区22,040千円× $\frac{1}{6}$ =2,204	5,604
新馬場郡元線ほか1路線路事業	延長 138m 掘土工・基礎工 路盤工・歩道工	44,563
藤池都市下水路事業	1区 水路工49.25m 路面工219m 2区 水路工181.9m 路面工697m 3区 水路工201.5m 路面工761m	50,650
植木都市下水路事業	ボックスカルバート 96.43m 水路工、舗装工	24,750
公共土木現年度災害復旧事業	内ノ木場1号線L=13m ほか9件	6,930
農地農林現年度災害復旧事業	諏訪原農地L=16m ほか7件	11,822
唐橋第2団地建設事業	鉄筋コンクリート造4階建第2種16戸	121,964
転作促進特別対策事業	明用農道L=727m 植栽農道L=733m	31,312
暖地営農むらづくり事業	小園農村広場(造成外柵)ほか7事業	20,000
新馬場近隣公園整備事業	第1工区 バックネット設置、給水 第2工区 法立、排水外柵 第3工区 植栽土止工	20,000
消防施設整備事業	40㎡山王原・下新 20㎡小きぎす・天木野	10,869
臨時地方道整備事業	山王原線ほか15線	78,302
第8地区公民館建設事業	鉄筋コンクリート造1階建 453.834㎡	47,094
堀元植木線舗装事業	延長 132.9m 幅員 6.5m	9,900
島津紅茶園切寄線改良事業	延長 328m 幅員 9.8m	10,000
藤池小園線改良事業	延長 396m 幅員 4m	10,870
梶田橋樑新設事業	延長 18.6m 幅員 10.2m	21,000
合計		582,536

小園営農研修センター

転作促進特別対策事業として昨年十一月より工事を進めておりました小園営農研修センターが二月二十八日立派に完成しました。この施設は総工費七百二十万円をかけた木造平家建七四・五㎡で、大小の会議室と調理室、研修室などが整備されています。この施設の完成に伴い水田転作等に係る研修や生活改善の場として、大いに活用されることと見られます。



営農研修センター



整備された堀元植木線

第六部(藤池)の消防詰所も完成

消防施設整備事業として、昨年より工事を進めていた第六部(藤池)の消防詰所と車庫が二月二十日完成しました。旧詰所は藤池児童館の南側に隣接してありましたが、老朽化が著しいため旧詰所より約百m南側に移転新築されたものです。この建物はブロック造約四十七平方メートルで詰所と車庫からなり、事業費四百二十万円で建設されています。



完成した飲雑用水施設

大野営農飲雑用水施設が完成

長田地区再編農業構造改善事業(区画整理、農道整備、集落環境施設整備事業など)で進めておりました大野営農飲雑用水施設がこの程、立派に完成しました。この施設は水源池と浄水、配水施設などが整備され、総工費二千八百五十四万六千円が投じられております。地域住民の清潔な飲料水として安定供給が図られることと見られます。



完成した消防詰所

町の話題



防犯予防で第2地区に感謝状

都城地区防犯連合会は、昨年度に防犯予防や暴力の追放活動に率先され、その成果高揚に努められた3団体と2名の方々の表彰式を5月8日都城市で開きました。

本町からは第2地区公民館(代表 吉川勇さん)に感謝状が贈られました。第2地区は全国防犯運動にちなんで、地区住民こそって犯罪や盗難の被害に合わないよう自主防犯活動を推進しようとパレードして盗難防止を呼びかけました。

優勝第1地区・第8地区

壮年ソフトボール大会

町体育指導員主催による壮年ソフトボール大会は、5月13日旭ヶ丘運動公園(神田公園)を中心に行われ、第1地区(40歳代)と第8地区(50歳代)がそれぞれ優勝しました。

この大会は、壮年層の運動不足の解消と親睦を深めるもので、今年で5回目をむかえ、18チームの参加で熱戦が展開されました。

尚、成績は次のとおり

優勝	40歳代・第1地区(B), 50歳代	第8地区
2位	40歳代・第2地区(B), 50歳代	第2地区
3位	40歳代・第8地区, 第7地区	



新規採用職員に辞令交付

本町では、本年度の新規採用職員10名に4月2日辞令が交付されました。

10名の新規採用職員は、多数の志望者の中から厳しい採用試験を突破しただけあって、生涯の職業として選んだ地方公務員としての誇りと職務に対する熱意がうかがえました。尚、新規採用職員の配属は次のとおりです。

児玉孝彦(総務課)・飯田美子(会計課)
川野 浩, 出水健一, 黒木孝幸(税務課)
堀内広美(福祉生活課)
黒木博視, 今村 剛(建設課)
西村尚彦(農畜産課), 瀬尾靖弘(農業委員会)

読書感想文の入賞者を表彰

第11回読書感想文コンクールの表彰式が先程、図書館で行われました。応募総数 474点のうちから27点が優秀感想文に選ばれました。尚、入選者は次のとおりです。

特選	入選
1年 齊藤まゆみ(三股小)	森どものり(勝岡小), 小林 みか(梶山小)
2年 荒武ともみ(三股小)	山口のぼる(三股小), 小林よう子(宮村小)
3年 西村きよみ(三股小)	野村 健治(三股小), 山元 香織(勝岡小)
4年 富田 かな(梶山小)	山元久美子(三股小), 森 穂志(勝岡小)
5年 山下 香奈(勝岡小)	山元久美子(三股小), 福永 知代(勝岡小)
6年 木下 孝子(三股小)	安藤 美香(三股小), 別府 郁(勝岡小)
中学1年 大久保千代子, 桑畑 直美, 遠保 吏志	
2年 平島美由紀, 三浦さとみ, 中田 潤子	
3年 山元 敦子, 永山 福英, 下西小百合	



名誉町民 故大河内利雄氏 安らかな眠りに

名誉町民の大河内利雄氏(七十二歳)は、去る三月二十二日脳塞栓症心不全のため悲しくも永眠されました。私達町民は、氏の今までの数々の御功績に対し深甚なる敬意と感謝を捧げ、氏の安らかな御冥福を心からお祈り申し上げるものであります。

黙稿

大河内利雄氏は、明治四十四年五月二十六日勝岡に生まれ、昭和九年三月早稲田大学文学部を卒業され、その後昭和十二年九月に宮崎県庁に入られ、学務部社会課都城職業紹介所等を経て、昭和二十一年一月小林国民勤労員署長を最後に依願退職されました。

氏はその後、昭和二十一年六月三股村助役に選任され、同年九月から昭和四十八年九月まで通算二十余年の間、村長並びに町長として教育文化、産業経済、公民福祉、生活環境の整備など各方面にわたる高度な識見と明敏誠実な資をもつて地方自治の振興に精魂を傾注され三股町の町政発展と町民の生活上に尽力された功績は誠に偉大なものであります。

氏の数々の御功績に報いるために本町においては、昭和五十三年四月一日に名誉町民の称号(第四号)を贈りました。

故大河内利雄氏は、明治四十四年五月二十六日勝岡に生まれ、昭和九年三月早稲田大学文学部を卒業され、その後昭和十二年九月に宮崎県庁に入られ、学務部社会課都城職業紹介所等を経て、昭和二十一年一月小林国民勤労員署長を最後に依願退職されました。

氏はその後、昭和二十一年六月三股村助役に選任され、同年九月から昭和四十八年九月まで通算二十余年の間、村長並びに町長として教育文化、産業経済、公民福祉、生活環境の整備など各方面にわたる高度な識見と明敏誠実な資をもつて地方自治の振興に精魂を傾注され三股町の町政発展と町民の生活上に尽力された功績は誠に偉大なものであります。

氏の数々の御功績に報いるために本町においては、昭和五十三年四月一日に名誉町民の称号(第四号)を贈りました。



告別式風景

一方、国におきましては昭和五十七年四月二十九日に勲四等瑞宝章を授与されたのであります。

町では、氏の町民告別式を三月三十一日町体育館でしめやかに執り行いました。

式場には、御遺族や町民をはじめ県や県議会議員、県内市町関係者など約三百余名が参列。祭壇には菊の花が飾られ遺影を前にしてお別れのことばや献花を捧げられた後、焼香が行われ氏との最後のお別れを惜しみながら焼香の列はいつまでも続いていました。

故大河内利雄氏の略歴

- 昭和9年3月 早稲田大学文学部卒業
- 昭和21年1月 その後宮崎県庁勤務
- 昭和21年9月 小林勤労署長を兼任の後、依願退職
- 昭和21年6月 三股村助役
- 昭和23年5月 町政施行により初代町長
- 昭和26年4月 三股町農業協同組合理事長
- 昭和32年9月 三股町長
- 昭和48年9月 三股町長
- 昭和39年1月 全国町村会長表彰(地方自治の振興発展に尽力した功績)
- 昭和45年1月 三股町名誉町民称号を授与
- 昭和48年4月 叙勲受賞(勲四等瑞宝章)
- 昭和57年4月 叙勲受賞(勲四等瑞宝章)
- 昭和58年5月 叙勲受賞(勲四等瑞宝章)



焼香する参列者



一市七町間は市内通話へ：
ダイヤルに注意

都城市を含む周辺(都城市と北諸県郡、末吉町、財部町)の電話のかけかたが変わりました。

市内局番が二ケタになり、すべて市内局番二ケタと、相手番号四ケタをダイヤルするだけでつながります。ダイヤルのしかたに注意しましょう。

◎末吉町役場に電話する場合は市内局番七六と役場の番号一一一番をダイヤルするだけでつながります。

市内局番は次のとおりです。

市町名	市内局番	市町名	市内局番
都城市	22・23	山之口町	57
	24・25	高崎町	62
	33・36	山田町	64
	37・38	財部町	72
	39		74
三股町	52	末吉町	76
54	78		
58	79		
高城町	53・59		
	55		

事故を起した人も被害を受けた人も

まずで相談を

被害者にも加害者にも大きな負担をもたらす自動車事故は、決して起こしてはならないものです。

しかし、もし起きてしまったら信頼できる相談相手のないことほど心細いものではありません。お気軽に自動車保険請求相談センターをご利用ください。

◎場所 宮崎市広島二一五一一〇
宮崎自動車保険請求センター
電話〇九八五(二八)一一九九

空き缶の「ポイ捨て」は資源の無駄遣い

お金を捨てる人ははずいいないでしょうが、空き缶となると、どうもポイと簡単に捨てる人がまだまだ多いようです。

なにげなく捨てられた空き缶もいまやお金と同じように貴重な物です。特にアルミ缶の再生は、新たに製造するとき比べて、二十七分の一のエネルギーで済むのです。

このような「価値ある資源」—空き缶をポイと捨てるのは、資源の無駄です。

空き缶は所定のゴミ箱に捨てるか、持ち帰りを励行し、環境の美化に努めましょう。

一般寄付

先程、町社会福祉協議会を訪れ福祉事業に役立てて下さいと寄付されました。

黒木宜允さん(仮屋) 一万円

◎図書のご寄贈について

さき程、次の方から貴重な図書のご寄贈がありました。

上石行治さん(谷)

誠にありがとうございます。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。社会福祉発展のために有意義にご利用させていただきます。

昭和五十九年三月一日から
昭和五十九年四月三十日まで
寄付者 続柄 故人名 地区 金額
福田 綱信(父) 忍 上米 一万円
飛岡 アキ(夫) 佐 轟木 三万円

6月の納税
県町民税
1期

7月は保険税の納期です。

三股町の人口

昭和59年5月1日現在

人口18,428人 出生 8人
男 8,719人 死亡 8人
女 9,709人 転入165人
転出164人

世帯数 5,752戸
前月比+1人

高牟礼秋秋叔母川崎ケサヨ 下新一万円
山下 ユキ(夫) 信雄 〇五万円
児玉 常道(母) ミワ 勝岡二万円
福田 俊子(母) 指宿ハル 〇一万円
轟藤 トミ(夫) 彦二 仲町三万円
柳橋 アキ(夫) 正身 勝岡二万円
木田シズエ(夫) 良助 飯屋二万円
松田 武母 トク 三原二万円
中村キヨ子(夫) 明 田上一万円
時田ユミ子(夫) 進 植木二万円
山瀬ナル子(夫) 岩盛 高畑二万円
大河内ミエ(夫) 利雄 勝岡〇万円
小倉ヤスエ(夫) 義雄 下新三万円
宮田 フチ(夫) 吉行 大野二万円
月野フミエ(夫) 秀雄 植木三万円
西野 ヤエ(義夫) 利夫 上米二万円
堀内 ヒメ(夫) 万次郎 中米二万円
轟木 テル(夫) 秀行 轟木 三万円
岩松 サツ(夫) 国嘉 山王原 万円
吉川 勇母 ケサ 中米三万円
西村 義春(妻) キミ 谷二万円
村尾 佐見(母) ツマ 大さ 三万円
正ヶ峯延男(義母) 竹之内ヒデ 勝岡二万円